

- 問1 オーストラリアの輸出相手国の変化について、かつてはイギリスなどの欧米諸国が中心でしたが、近年ではアジア諸国が大きな割合を占めるようになっていきます。この変化の主な要因として、輸出品目の変化と関連付けて説明したものととして最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. アジア諸国の工業化にともない、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の需要が高まったため。 | 2. 欧米諸国との貿易摩擦を避けるために、輸出先をあえて近隣の島嶼国に限定したため | 3. 欧米諸国での人口増加にともない、羊毛や小麦などの農産物の輸出を制限したため。 | 4. アジア諸国において羊毛を用いた伝統的な衣服の需要が急激に高まったため。 |
|--|---|---|--|
- 問2 南アメリカ大陸を南北に貫くアンデス山脈において、標高の高い厳しい環境に対応するために、古くから移動や運搬、毛の利用などを目的として飼育されてきた家畜を答えなさい。
(2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|-------|
| 1. リヤマ | 2. トナカイ | 3. ラクダ | 4. ヤク |
|--------|---------|--------|-------|
- 問3 日本の卸売市場におけるかぼちゃの流通状況を見ると、11月から1月にかけての冬の時期に、日本国内産の出荷が減少する一方で、特定の国からの輸入が急増し、市場の大部分を占めることがあります。この時期にその国からの輸出が可能である地理的な理由として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. その国は赤道直下に位置しており、一年中気温が高く降水量も多いため、時期を問わず常に安定して収穫できるから。 | 2. その国は北緯40度付近に位置しており、日本と気候が似ているため、同じ栽培方法で大量生産が可能だから。 | 3. その国は標高が高い高地に位置しており、冷涼な気候を利用して、日本の夏場に合わせた抑制栽培を行っているから。 | 4. その国は南半球に位置しており、日本と季節が反対になるため、日本の冬にあたる時期に収穫期を迎えるから。 |
|--|---|--|---|
- 問4 南半球に位置し、東側は太平洋、西側はインド洋に面している、世界で最も面積が小さい大陸の名称として適切なものを選びなさい。
(2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------------|-----------|------------|
| 1. 南極大陸 | 2. オーストラリア大陸 | 3. アフリカ大陸 | 4. 南アメリカ大陸 |
|---------|--------------|-----------|------------|
- 問5 南アメリカ州のブラジルでは、世界的な需要の高まりに応えるために畜産業が盛んに行われていますが、これに伴う環境への影響が議論されています。生産されている家畜と、それに関連して発生している課題の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|
| 1. 羊：乾燥地での過放牧による砂漠化の進行 | 2. 豚：冷涼な気候に適応させるための森林の伐採 | 3. 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採 | 4. ヤギ：高地での飼育に伴う土壌浸食の発生 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|------------------------|
- 問6 オーストラリアの気候区分の割合を示した統計において、国土面積の約75パーセントという広大な範囲を占めている、降水量が極めて少なく樹木の生育が困難な気候帯を何といいますか。
(2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 乾燥帯 | 2. 温帯 | 3. 熱帯 | 4. 寒帯 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問7 ペルーの主要な水産資源であるアンチョビの利用や、その背景にある環境について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. アンチョビは暖流の影響で大量に発生し、その多くが日本や中国向けの生食用として空輸され、ペルーの輸出額の過半数を占めている。 | 2. アンチョビはタコやイカとともに乾燥加工され、熱帯雨林が広がる首都周辺の住民にとって唯一の現金収入源となっている。 | 3. 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。 | 4. アンチョビの漁獲量は、エルニーニョ現象が発生して沿岸の海水温が低下すると急増するため、国の経済を支える安定した資源となっている。 |
|--|---|--|---|
- 問8 南アメリカの諸地域における農業の特色について、アンデス山脈周辺の地域において古くから主食として栽培されている農作物の名称として正しいものを次の中から選びなさい。
(2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 1. キャッサバ | 2. トウモロコシ | 3. じゃがいも | 4. サトウキビ |
|----------|-----------|----------|----------|
- 問9 南アメリカのアンデス山脈における、高度ごとの農業や人々の生活の様子を説明した文として正しいものはどれですか。
(2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 標高が高くなるほど気温が上がる性質を利用して、山頂に近いほど熱帯由来の作物が栽培されている。 | 2. 北アメリカのロッキー山脈と同じように、ふもとから山頂付近まで一貫して広大な小麦畑が広がっている。 | 3. 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリヤマやアルパカの放牧が行われている。 | 4. 標高3,000メートルを超える寒冷な地域では、トウモロコシの栽培が最も盛んに行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問10 南アメリカ大陸の北部を横切る赤道と、オーストラリア付近を通る特定の経線が交わる地点は、ブラジル北西部の内陸付近に位置しています。この赤道直下の地域で見られる地理的な特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。
(2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. アンデス山脈のふもとに位置し、パンパと呼ばれる広大な温帯草原が広がっている。 | 2. 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。 | 3. 寒流の影響を強く受けるため、赤道付近であっても年間を通して降水量が極めて少ない。 | 4. 標高が高いため一年中涼しく、インカ帝国の遺跡が残る高山都市が発展している。 |
|---|--|---|--|
- 問11 オセアニア地域に含まれるオーストラリアやニュージーランドについて、2017年から2019年の統計資料から読み取れる日本人の動向として、正しい説明はどれですか。
(2024年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|------------------------------------|---|
| 1. ビジネス目的の訪問者が急増した一方で、治安への不安から日本人留学生数は減少した。 | 2. ASEAN諸国への留学人気に押され、日本人留学生数と訪問者総数の両方が減少した。 | 3. 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。 | 4. 英語教育への関心の高まりを受け、訪問者総数と留学生数の両方が大幅に増加した。 |
|---|---|------------------------------------|---|
- 問12 南アメリカ大陸の西側に連なるアンデス山脈周辺の高地では、人々は厳しい自然環境に合わせて独自の生活文化を築いてきました。この地域で見られる、標高が高いことに起因する気候の特徴と、そこで営まれている産業や生活についての説明として正しいものを選択してください。
(2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 低緯度で一年中高温多湿なため、熱帯雨林が広がり、高地を利用した広大なコーヒーのプランテーションが展開されている。 | 2. 一年中気温の変化が少なく涼しいため、ラパスなどの高山都市が発達し、毛織物の原料となるアルパカなどが飼育されている。 | 3. 季節による気温差が非常に大きいので、冬の寒さに耐えられるよう、厚い毛を持つラクダが主な移動手段として使われている。 | 4. 標高が高く降水量が極端に多いため、大規模な稲作が行われ、水辺に適したトナカイが家畜として利用されている。 |
|---|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 アジア諸国の工業化にともない、鉄鉱石や石炭などの鉱産資源の需要が高まったため。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった背景から、羊毛などの農産物を主に欧米へ輸出していました。しかし、日本や中国といったアジア諸国の経済発展と工業化が進むにつれ、製鉄に必要な鉄鉱石や、火力発電の燃料となる石炭などの鉱産資源の需要が増大しました。地理的な近さもあり、現在のオーストラリアにとってアジア諸国は極めて重要な貿易相手となっています。
問2	答え 1 リヤマ	アンデス山脈の高地では、酸素が薄く寒冷な気候に適応したリヤマやアルパカが家畜として利用されています。これらは急峻な山道での荷物運搬において重要な役割を果たしており、アンデスの人々の生活に欠かせない存在です。
問3	答え 4 その国は南半球に位置しており、日本と季節が反対になるため、日本の冬にあたる時期に収穫期を迎えるから。	日本とオセアニアの島国であるトンガは、赤道を挟んで北半球と南半球に分かれているため、季節が反対になります。日本ではかぼちゃの収穫が冬場に減少しますが、南半球のトンガでは日本の冬が夏から秋の収穫期に当たります。この「季節のズレ」という地理的条件を利用して、日本国内の生産量が少ない時期（端境期）を狙った輸出が行われています。
問4	答え 2 オーストラリア大陸	オーストラリア大陸は、すべてが南半球に含まれる世界最小の大陸です。東側に太平洋、西側にインド洋が広がっており、北側にはインドネシアなどの東南アジア諸国が位置しています。その面積は日本の約20倍ですが、大陸の中では最も小さく、一つの国が大陸の大部分を占めているのが特徴です。
問5	答え 3 牛：放牧地の確保を目的とした熱帯林の伐採	ブラジルにおける開発と環境保護の対立は、地理学習において非常に重要なテーマです。世界第2位の生産量を誇る「牛」の生産を支えるため、もともと森林であった場所が「牧場」へと作り替えられており、これが「熱帯林の減少」の直接的な原因となっています。選択肢にある豚や羊、ヤギは、ブラジルの森林減少における主因とはなっていません。
問6	答え 1 乾燥帯	オーストラリア大陸はその大部分が中緯度高圧帯（中緯度高気圧）の影響下にあるため、上昇気流が起こりにくく、雨がほとんど降りません。このため、国土の4分の3以上という極めて高い割合を、砂漠やステップが広がる気候帯が占めることになります。
問7	答え 3 漁獲されたアンチョビは、主に家畜の飼料や肥料となるフィッシュミールとして輸出されるほか、国内の山岳地帯では重要なタンパク質源として利用されている。	ペルーで大量に獲れるアンチョビは、魚粉（フィッシュミール）に加工されて世界中に輸出され、主に家畜の餌や農作物の肥料として使われます。一方で、新鮮な魚が手に入りにくいアンデス山脈などの山岳地帯の住民にとっては、貴重な栄養源（タンパク質）としての役割も果たしています。なお、エルニーニョ現象発生時は海水温が上昇するため、漁獲量は減少します。
問8	答え 3 じゃがいも	アンデス山脈周辺の地域では、地形や気候などの自然環境に合わせて多様な農業が行われています。じゃがいもはアンデス山脈が原産地とされており、標高が高く冷涼な地域においても栽培が可能のため、古くからこの地域に住む人々の生活を支える主食として栽培され続けてきました。
問9	答え 3 標高4,000メートルを超える高冷地では、農耕が困難なためリヤマやアルパカの放牧が行われている。	アンデス山脈では、標高が上がるにつれて気温が下がる気候特性に合わせた「高度別農業」が行われています。標高3,000メートル以上の高冷地ではジャガイモが栽培され、さらに厳しい環境となる4,000メートル以上の地域では、家畜であるリヤマやアルパカの放牧に頼る生活様式が見られます。ロッキー山脈は北アメリカに位置する山脈であり、アンデスの特徴とは異なります。
問10	答え 2 世界最大の流域面積を持つアマゾン川が流れ、広大な熱帯雨林が形成されている。	南アメリカ大陸の北部には赤道が通っており、特にブラジル北西部の低地はアマゾン川の流域にあたります。この地域は赤道直下のため一年中気温が高く、上昇気流によって多量の雨が降る熱帯雨林気候となっており、「セルバ」と呼ばれる広大な熱帯雨林が広がっています。パンパはアルゼンチンなどの大陸南部に位置する温帯草原であり、インカ帝国の遺跡などは主にアンデス山脈の高地に見られる特徴です。
問11	答え 3 訪問者総数が減少していても、日本人留学生数は増加を続けていた。	オセアニアにおける日本人訪問者の動向を統計的に捉えると、観光客数などの変動に関わらず、学習を目的とした滞在者が一貫して増えているという特徴があります。これは、単なる観光地としての魅力だけでなく、語学学習や異文化理解を目的とした中長期的な教育交流が深化していることを示しています。統計分析においては、全体の数値だけでなく目的別の内訳を比較することで、こうした社会的な背景を読み取ることが可能です。
問12	答え 2 一年中気温の変化が少なく涼しいため、ラパスなどの高山都市が発達し、毛織物の原料となるアルパカなどが飼育されている。	アンデス山脈の高地では「常春」とも表現されるように、一年を通して気温の変化が小さく、冷涼な気候が続きます。このため、熱帯の低地よりも過ごしやすい高地にラパスのような大都市が形成されました。この地域特有の家畜であるリヤマ（主に運搬用）やアルパカ（主に衣類の原料となる毛用）は、高地の厳しい環境に耐えることができるため、人々の生活を支える重要な存在となっています。選択肢にあるトナカイは北極圏、ラクダは主に乾燥帯の動物であり、地域的な特徴が異なります。